

平成 24 年 6 月 8 日
大王製紙株式会社
[コード番号 3880]

夏期の四国電力株式会社への電力供給について

当社三島工場（愛媛県四国中央市）は、昨年夏より自家発電の一部を四国電力株式会社へ供給してまいりましたが、今夏予想される全国的な電力不足を踏まえ継続して供給することを決定しましたのでお知らせします。

三島工場では、今春までに、タービンの高効率化や制御性の改善、工場送気バランス見直しなどの発電効率改善及び省エネルギー対策に取り組んできました。その効果に加え、川之江工場の休転（東日本大震災による供給不足に対応して再稼働していた設備の休転）や今夏に行う生産設備の定期修理時などの発電余力も活用し、三島工場で生じる余剰電力を最大限四国電力株式会社に供給します。

さらに、今夏のうちでも特に電力需給が逼迫する期間には、重油ボイラー（予備缶：通常停止設備）をいつでも運転できる体制とします。

以上により、日時により変動するものの最大で 4 万 kW 程度の電力を四国電力株式会社に供給します。

今後も節電の取組みおよび電力供給に関して、当社が協力できることを引き続き検討してまいります。

【本件に関する問合せ先】
四国本社 エネルギー企画部
部長 杉村 弘文
TEL：0896-23-9190